

(別紙) 機能要件一覧		
項目	カテゴリ	要件
1	基本要件	クラウドサービスを利用したシステムであること。 提供するクラウドサービスは、安定した稼働・動作の実績があること。
2		原則として24時間365日利用可能であること（システムメンテナンス等計画された利用停止期間は除く）。
3		システム稼働率は、計画メンテナンスの時間帯を除き、99.9%以上であること。
4		以下のスペックの端末に対応していること。 (1) CPU：インテル Core i5-1334U (2) メモリ：16GB以上 (3) ハードディスク：256GB以上 (4) OS：Windows 11 Pro 64 ビット (24H2)
5		以下のブラウザのサポートされている最新バージョンに対応すること。 (Microsoft EdgeまたはGoogle Chrome)
6		特定のブラウザが保有する機能に依存しないこと。また、ブラウザの機能拡張等の操作を要しないこと。
7	ユーザー登録	メールアドレスもしくは職員番号等個人を識別する情報により、利用可能な職員を認証できること。
8		ユーザーを個別登録、かつCSVファイルアップロードにて一括登録できること。また、登録したユーザーについて、常時一覧で確認できること。
9		ユーザーをCSVファイルアップロードで登録する際にエラーが生じた場合は、アラート表示され、エラー内容が把握できること。
10		ユーザー情報を変更する場合、個別変更、かつCSVファイルアップロードにて一括変更できること。
11		CSVファイルアップロードにより一括でユーザー情報を変更した場合、変更が生じたユーザー情報のみ更新され、その他のユーザーには影響しないこと。
12		登録されたユーザーの一覧において、特定のユーザー情報で検索し、ユーザーの特定ができること。
13		ユーザーの削除、または無効化ができること。
14		ユーザーのメールアドレスにアカウント登録の招待リンクを一括送付できること。また、招待リンク (URL) の有効期限がないこと。
15	グループ設定	ユーザーをグループ分けできること。また、設定したグループについて、常時一覧で確認できること。
16		ユーザーが所属できるグループ数が200以上であること。
17		グループ名に日本語（ひらがな、カタカナ、漢字）が使用できること。
18	権限設定	ユーザーごとに操作権限の設定が可能であること。
19		管理者権限はすべての操作権限を包含すること。
20	会話機能	他のユーザーが閲覧できないプライベートな空間で生成AIと会話ができること。
21		ドキュメント (Word/Excel/PowerPoint/テキスト) を生成AIとのチャットに直接添付できること。
22		最新のネット情報を加味した回答が可能であること。また、当該機能については、設定で有効/無効を切り替えできること。
23		生成AIとの会話履歴は一定期間保持されること。なお、一定期間とは、1年以上とする。
24		どのユーザーが、いつ、どのような操作を行ったか管理者が履歴を確認でき、個別に管理できること。
25		ユーザーが生成AIと会話した履歴が管理者、もしくは、権限を付与された特定の一般ユーザーにより、サービス画面上から削除できること。
26	セキュリティ機能	個人情報などのセンシティブ情報を検知し、アラート表示すること。また、検知された情報は送信できないような設定が可能であること。
27		発注者が独自で指定する禁止ワードを登録でき、送信しないように設定できること。
28	プロンプトテンプレート機能	標準で装備されているプロンプトテンプレートが、100種類以上あること。または、プロンプト入力をサポートするエージェント機能について、100種類以上あること。
29		すべてのユーザーがプロンプトテンプレートを閲覧・利用できること。
30		ユーザーごとに頻繁に利用するプロンプトをブックマークできること。
31		ユーザーがプロンプトとその実行結果を他者と共有することができ、共有されたユーザーはその実行結果を再利用できること。
32		管理者のみならずユーザー側でも組織全体・任意の組織/グループ・個人単位で管理できるテンプレートを随時追加できること。
33		RAG機能 ※仕様書内「4.生成AIサービスの仕様(4)」で定義
34	上記の機能を利用した回答について、回答を生成する上で根拠としたドキュメントの引用元（データの名称及び記載箇所）が明示されること。	
35	複数のドキュメントを一度にアップロードできること。なお、同時にアップロードできるファイル数に制限がないことが望ましいが、制限がある場合は最低10ファイル以上は同時アップロードが可能であること。	
36	登録可能なファイル形式は、txt・doc・docx・xls・xlsx・ppt・pptx・csv・pdfとする。	
37	1ファイルあたり、以下の容量のファイルをアップロードできること。 ・テキスト、Word、CSV、PDF、PowerPoint、Excel：10MB また、複数ファイルを同時にアップロードする場合も、上記と同じ容量のファイルをアップロードできること。	
38	アップロードしたドキュメントを削除できること。	
39	アップロードしたドキュメントをフォルダ分けしてサービス内で保管・管理できること。また、フォルダは無制限に作成可能であり、作成された各フォルダには組織全体・任意の組織/グループで参照権限を設定できること。	
40	RAGに使用するドキュメントのアップロードについて、利用料は発生しないこと。	
41	管理機能	管理者はトークン数の利用状況が常時確認できること。
42		利用トークン数が上限に達した際に管理者に通知が来ること。
43		利用トークン数が上限に達した場合、ユーザーの利用制限がかかり、追加費用が発生しないこと。
44		利用トークン数が上限に達し、ユーザーの利用制限がかかった場合でも、過去の会話は閲覧できること。
45		管理者は組織内の過去の会話履歴を確認できること。なお、過去とは、2か月以上の期間とする。
46		管理者はセキュリティ機能で検知された情報が確認できること。